

都市再生整備計画 事後評価シート
見付地区

平成23年3月

静岡県磐田市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	静岡県		市町村名	磐田市		地区名	見付地区			面積	118ha		
交付期間	平成18年度～22年度		事後評価実施時期	平成22年度		交付対象事業費	623百万円	国費率	0.4				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	地域生活基盤施設(見付宿いこいの広場、簡易パーキング、見付まちなみ案内看板)、高質空間形成施設(市道115号線外・見付本通線歩道、簡易パーキングトイレ)、既存建造物活用事業(脇本陣門移築復元)										
		提案事業	地域創造支援事業(見付交番用地取得、一里塚保存整備、栗田家土蔵群整備)										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	公園(塔之壇公園)			整備内容や整備方法等について、関係者との調整が整わず、期間内の事業完了が見込めないため計画から削除			指標2「観光交流客数の増加」に影響するが、指標及び数値目標は据え置く。				
		提案事業	旧赤松家保存整備事業			地域生活基盤施設(広場)および既存建造物活用事業(図書蔵)へ変更のため地域創造支援事業から削除			影響なし				
	新たに追加した事業	基幹事業	①旧赤松家 ②旧赤松家図書蔵			①②地域創造支援事業としていた旧赤松家保存整備事業を地域生活基盤施設(広場)と既存建造物活用事業(図書蔵)へ変更のため追加			影響なし				
		提案事業	①地域創造支援事業(街路灯配線地中化工事) ②事業活用調査(景観計画策定) ③地域創造支援事業(見付地区配水管布設工事)			①歴史的景観に配慮したまちなみにするため事業の追加 ②景観まちづくりをより実効性のあるものとするため事業の追加 ③歩行者の安全を確保するため事業の追加			①②指標1「景観満足度の向上」に影響するが、指標及び数値目標は据え置く。 ③指標3「歩行者数交通量の増加」に影響するが、指標及び数値目標は据え置く。				
交付期間の変更	当初	平成18年度～22年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-							
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	指標1	景観満足度の向上(景観が好ましくないと感じている人の率)	%	40	基準年度 H13	目標年度 H22	30	モニタリング -	評価値 16.12	○	あり なし	見付本通線整備事業や小路の石畳調化整備により、宿場町としての風情や景観が創出され、地区の景観満足度が向上した。	平成24年5月
	指標2	観光交流客数の増加	人/年	158,500	H16	H22	178,500	-	186,040	○	あり なし	旧赤松家やいこいの広場など観光拠点の整備により、地区内の回遊性が高まり、観光客数が増加した。	平成23年6月
	指標3	歩行者数交通量の増加	人/12時間	675	H16	H22	742	-	772	○	あり なし	見付天神線の整備により通過車両が分散化され、本通線歩道整備により歩行者の安全が確保され、歩行者交通量が増加した。	平成24年5月
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	基準年度	目標値	数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	その他の数値指標1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	その他の数値指標2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	その他の数値指標3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
4)定性的な効果発現状況	指標1の「アンケート調査」の自由意見の中で、見付本通線整備事業による景観の向上を評価する意見が多くみられた。												
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況			今後の対応方針等						
	モニタリング	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた			-	-					
	住民参加プロセス	①見付宿まちづくりプロジェクト会議		都市再生整備計画に記載し、実施できた			●①	①今後も関連事業の実施に向けて協議を図る。					
		②市民ワークショップ		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した			●②③	②今後も事業実施にあたっては市民ワークショップを開催する。					
③交番設置要望		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			-	③交番設置要望を継続する。							
持続的なまちづくり体制の構築	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた			-	-						
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した			-	-						
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			-	-						

様式2-2 地区の概要

見付地区(静岡県磐田市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
大目標 歴史・景観まちづくりによる「宿場町:見付」の活性化 ①宿場町の風情を活かした魅力ある景観まちづくり ②商業と観光が盛んな賑わいのあるまちづくり ③楽しく安全で安心して歩くことができる歩行者優先のまちづくり	景観満足度の向上(不満足者の割合)	単位: %	40 H13	30 H22	16.12 H22
	観光交流客数の増加	単位: 人/年	158,500 H16	178,500 H22	186,040 H22
	歩行者数交通量の増加	単位: 人/12時間	675 H16	742 H22	772 H22



旧赤松家



いこいの広場・鷹本陣門



まちなみ案内板

旧赤松家
構内整備(基幹・地域生活)
図書蔵(基幹・既存建造物)

栗田家土蔵群整備(提案)

いこいの広場(基幹・地域生活)
鷹本陣門(基幹・既存建造物)

まちなみ案内板(基幹・地域生活)

簡易パーキング(基幹・地域生活)
交番用地取得(提案)

区域内全域
景観計画(提案)

配水管布設工事(提案)

小路整備(基幹・高質空間)

一里塚整備(提案)

見付本通線
電線共同溝埋設(基幹・道路)
歩道整備(基幹・高質空間)
街路灯配線地中化(提案)



玄妙小路



玉良小路



見付本通線

まちの課題の変化

- ・見付本通線整備事業や、小路整備における石畳調化により、宿場町としての歴史性が景観に活かされてきている。
- ・旧赤松家は、整備完了により、地区の観光の拠点として、またイベント開催などに活用されている。
- ・駐車場用地の取得や交差点改良により、駐車スペースが確保され大型バスの乗り入れが可能となった。
- ・見付本通線の歩道整備事業による効果のほか、見付天神線の整備により通過車両の分散化が図られたことにより、歩行者の安全が確保され、歩行者交通量が増加した。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

- ・歴史的景観に配慮した街並みにするため見付本通線整備事業を早期に完了し、宿場町としての風情を活かすため小路の石畳調化を目指す。
- ・また、景観まちづくりをより実効性の高いものにするため、地区住民の発意による景観計画の施行を目指す。
- ・旧赤松家整備事業につづき、交流人口の増加を図るため、歴史的建造物(栗田家土蔵群・一里塚など)の修理・整備・活用を目指す。
- ・地区の歴史的建造物等を訪れる人やバスが利用しやすい駐車場にするため、駐車場の機能改善を目指す。
- ・地区の安心・安全及び歩行者の安全を確保するため、早期の交番設置を目指す。